

県医労新聞

2015年3月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1896号(月刊111号)



岩手医労連青年部ウィンターアクト(2月14日～15日 紫波フルーツパーク)

目次

- 1 P 第153回県医労中央委員会
人事異動
 - 2 P 春闘討論集会
被災地域署名行動
 - 3 P 看護部ニュース
 - 4 P 中央支部学習会
遠野支部年金学習会
NPTニュース
 - 5 P 青年部ニュース
 - 6 P つぶやき、とんがらし
1月号パズル当選者
 - 7 P お知らせ
 - ◇退職者をねぎらう集い
 - ◇火災共済(医労連共済)
- 懸賞パズル 3・4月の予定



手作りピザ体験「上手に出来ました～♪」

支部活動を強化し、大幅増員実現を

春闘方針の賃上げ4万円などを決定

中央委員会は、少し遅れて開会となりましたが、10



ほぼ全支部が発言

時30分には成立要件を満たしました。高橋書記長の春闘方針提案を受け、中央委員から「若い職員に超過勤務を書くように話している」という職場がある一方で、「人手不足で事故が起きないのが不思議な程だ」、「希望もしていない年次がつけられる」、「7対1だから今月は年次はダメと言われている」、「9回夜勤が発生している」、「ザールから応援」、「医療機械は増えるが技士は現状維持」など、厳しい職場実態が報告されました。また「青年部定期大会の準備をしている」、「支部旅行を計画している」、「地域で平和学習会を計画している」など、支部での活動も交流されました。

人事異動

その場で返事をしない！

まもなく人事異動の一斉内示があります。組合は、昨年より早く内示をすること、以前実施していた内内示を復活するように要求し、交渉してきましたが、当局は「昨年と同様」としています。内示日は、次のことを

それぞれが確認しておくことが必要です。異動を希望していない組合員への内示、希望していた病院と違う病院への内示を出された場合、その場で返事をしないことです。必ず、「家族と相談します」と答え、指

示された日までに返事をするにしましう。支部では、当日に交渉出来るよう準備しておくことも重要です。

不当な内示や希望が実現しない場合には、すぐに支部役員に相談してください。一緒に病院長、事務局長と交渉することが大事です。そして組合本部にも連絡を。本部でも組合員の要望に沿うよう交渉・確認を行います。

人手不足を認めさせよう

総括答弁では「人手不足を当局に認めさせ、増員を実現しよう。パワハラは風通しの悪さが1つの要因であ

り、組合が弱くなったことも連動しているかもしれない。大いに支部活動をしていこう」と結び、満場一致で方針が採択されました。また、第2次予算更正、選挙委員の選出も採択されました。

来賓には、岩手医労連、いわて労連、日本共産党県委員会からお迎えし、連帯し運動していくことが表明されました。



「人が足りない」訴えが次々に

大幅増員・賃上げを勝ち取るっ!

日本医労連東北地方協春闘討論集会



春闘勝利に向けてガンバロー!

日本医労連東北地方協春闘討論集会が、2月7・8日、盛岡市つなぎ「ホテル大観」で開催され、全体で145人（県医労6支部・本部10人）が参加し、2015春闘の方針を学習・討論しました。

記念講演では、全労連常任幹事伊藤圭一さんが、日本だけでなく世界の労働組合の活動を紹介。そのなかで、「アメリカの労働組合は、いのちに直接関わる無くてはならない業界であり、国民の理解も得やすい。他の業界よりも大幅改善を勝ち取れるはず」と激励しました。

分散会では、各単組の取り組み等を意見交流し、大幅増員と賃上げを勝ち取るうと意思統一しました。青年部からは、今年8月に福島県で開催されるアクトインサマー成功に向けての決意が報告されました。



全労連常任幹事 伊藤圭一さん

る情勢と賃上げ



被災者の声を聴く中野委員長

東日本大震災から3年11ヶ月となった2月13日、「被災者の声を聴け! 2・13国会総行動」が行われ、東北の被災3県と豪雨災害の復興をめざす広島代表ら400名が集まりました。

この日の行動の前に、岩手県復興県民会議では、被災者の生の声を要求にまとめ国会に届けようと、いわて生協の移動販売車と連動して仮設団

地で署名の呼びかけや、ふれあいサロンで住民の皆さんと懇談を行いました。県医労からは、宮古市田老漁協周辺での署名行動と、釜石市松倉B仮設団地および陸前高田市滝の里仮設団地でのふれあいサロンへの参加・懇談会に参加しました。

懇談では、「仮設住宅には救急車が入れない」「仮設なのでいつどこが壊れるかビクビクしている。小さくても自分の家で一生を終らせたい」など応急住宅では安心して生活できない現状が出されました。国会行動では、被災者の住宅再建のさらなる支援を訴えました。

被災者の声を聴け

署名行動と住民懇談会

人手不足をオーバーワークで補う 悪循環を断とう!

夜勤シンポに254名 議員要請も



衆議院議員会館大会議室でシンポ

日本医労連主催「夜勤改善・大幅増員をめざすシンポジウム」が2月5日、衆議院議員会館大会議室で開催され全国から254名、県医労から4名が参加。翌日は地元選出国会議員の要請行動を行いました。

シンポジウムでは3名のパネリストが発言。労働科学研究所慢性疲労センター長の佐々木司さんは、「真の疲労回復には①狭い意味の疲労回復だけでなく、②ストレスの解消、③次の仕事の準備ができる休憩時間が必要」と指摘。「勤務間隔が11時間では狭い意味の疲労回復しかできない」と警鐘

を鳴らしました。

全労連常任幹事の伊藤圭三さんは、長時間労働や不払い時間外労働が蔓延し、夜勤交替制労働への健康配慮のなさが問題と指摘。夜勤交替制労働者は法定労働時間を短くすべき等の内容を盛り込んだ「国会請願署名」の取り組みを呼びかけました。

全日赤委員長森田しのぶさんは、2交替制勤務病棟の5割超で、心身に与える有害性が高い16時間以上

の長時間夜勤になっていると指摘。フロアー発言では、「正循環」の試行で「妊娠者が増えた。生体リズムにあっている」との一方で、9回以上夜勤が97%のICUの職場や過労死が疑われるケースも報告されました。まとめの中で三浦書記長は、「夜勤改善・大幅増員」署名、地方議会での意見書採択、国会議員への要請を強め、「夜勤改善の世論づくりに本気で取り組み、人手不足をオー

バーワークで補う悪循環を断ち切ろう」と訴えました。

地元選出国会議員要請では、2月9日現在、平野議員と黄川田議員から賛同の連絡をいただいています。



岩手からの国会議員要請行動参加者

不払い労働 前回より悪化

2013年看護職員の労働実態調査
県医労版パート6



県医労版報告の最後は、不払い労働の結果です。「不払い労働なし」は、わずか22.3%（全国31.0%、前回19.4%）で、75.2%（全国65.6%、前回71.5%）の709人がサービス残業をしていて、全国・前回（2009年）と比べても、サービス残業が横行し、悪化している状態と言えます。そのサービス残業の内容は、「記録」58.4%、「情報収集」48.1%、「患者への対応」35.1%、「研修」32.4%となっていて、「研修」「各種委員会」は全国より15ポイント前後高い結果となっています。

昨年秋に県医労で取り組んだ「委員会、会議、研修(会)、研究に関するアンケート」でも、研修や委員会を負担に感じているとの回答が多くありました。委員会・研修の不払い労働をなくすことが、モチベーションアップにもつながり、働きやすい職場になるのではないのでしょうか。

労働実態調査における不払い賃金の総額は、1,631万円にも上ります(割り増し含む時間単位を2,000円で計算)。

◆賃金の不払い労働(サービス早出・残業等)の主な業務(複数回答)

	県医労	全国	前回
記録	58.4	61.0	61.5
情報収集	48.1	47.9	47.8
患者への対応	35.1	44.0	40.1
研修	32.4	15.1	40.4
各種委員会	28.6	13.8	26.1
研修と各種委員会以外の諸会議	10.7	8.8	22.9
機器の立ち上げなど仕事の準備	8.9	9.7	12.4

壮年部年金学習&交流会

遠野支部

2月12日(休)、「民宿とおの」にて本部の○副委員長を講師に、以前から要望のあった年金についての学習会と交流会を開催し、10名が参加しました。参加者からは、「手続きや確定申告についてなど、今まで知らなかったことを聞けて大変勉強になった」との感想が聞かれました。遠野らしい田舎料理とどぶろくを嗜みながら、職場のことや他愛もない話など垣根を超えた話題で盛り上がりました。

3名がそのまま宿泊し、翌日後遺症もなく元気に仕事をしたづもな。

どんどはれ

支部長 ○○○○



知って安心・年金制度

ゆったり温泉 リフレッシュ学習会

中央支部

2月7日、ホテル紫苑で中央支部文化部主催の「温泉ゆったりツアー&安全衛生委員会学習会」が開かれました。参加者は組合員25名と家族・子ども27人の52名。多くの参加者は、交流会場に風呂上がりの浴衣姿で参加、この行事は毎年開催しており、リラックスして家族で参加できる企画として定着している。

まず、学習会の内容は、安全衛生委員会を中心に、36協定や女性の権利にもふれ、盛りだくさんでした。

交流会では、超勤を書かせない上司の圧力など、パワハラによつて働きにくくなった職場に「もう、やってられない」と退職を決めた組合員の怒りの声が聞かれました。

しゃべればスッキリ！
学べば、力！



2月11日、盛岡市・サニビルにて、NPT代表団激励集会在、行われしました。新婦人の若山さん、非核政府の会の菅原さん、被団協の齋藤さん、県医労の○○○中央執行委員の4名が代表団として出席。代表者はそれぞれ、NPT再検討会議行動参加に向けた思いと、取り組みを報告しました。その他に、民医連2名、自治労連2

2015年NPT 代表団を激励

核兵器廃絶へ
新たな一歩

また、2010年に行われたNPT再検討会議行動に参加した岩手医労連の五十嵐さん、被団協の下村さんから、前回の様子などを報告してもらい、激励を受けました。

激励集会では代表団を中心に、署名、カンパに取り組み、ニューヨークへ送り出すことを確認しました。



激励集会で発言する非核政府の会の菅原さん



大切なのは 思いやりと観察力

2月14日(土)～15日(日)、ラ・フランス温泉「ゆらら」を会場に、岩手医労連青年部主催のウィンターアクトin紫波が開催され、県内7単組から23名が参加しました。県医労からは6支部・本部9名が参加しました。

1日目、住職で特別養護老人ホーム総合施設長でもある太田宣承さんが「医療現場における私の働きがいは何か」と題して、ご自



終始ニコニコ笑顔の太田宣承さん

身の体験や実践などを紹介しながら、楽しく講演されました。働く上で大切なことは、お年寄りや患者さんに対し、職員側が良いと思っているケアをするのではなく、相手のことをよく観察し、望んでいるケアすること。また職員



釜石支部青年部は1月31日に市内の海鮮系居酒屋で青年部の新年会を行いました。看護師、CE、事務等の計12人が集まりました。普段話すことの少ない他職種の方たちが集まり、交流を持つことはとても良いことだと思います。

ここ数年、支部青年部での活動が無かったので、これを機に活動の機会を増やしていきたいと思います。



1月28日、大昌園(市内)を会場に南光支部青年部新年会を開催し、総勢14名が参加しました。

また、〇〇支部長(写真中央)を講師に「職場と労働組合、労働基準法第36条を締結すること、自分を守るための勤務時間申請」という内容で学習会も同時に行われ、組合活動の目的と大切さを再確認することが出来ました。

ぴんぱん

東京オリンピックまで、あと5年。その頃まで働けるのかなあと不安…。体力の限界…（と言ったアスリートがいましたね、引退会見で）そんな感じです。

磐井支部 ベガ

この間、がんばって働いたら、超勤しすぎと言われた。病休が増えると「休める時は休んで」と師長は言うが、年次請求すれば非番の移動。月に一度も連休がない勤務表の人もいる。どうやって休めばいいのか？

釜石支部 オトモアイルー

青年部のスキースノボは楽しそうな写真がたくさんあつてステキだと思いました。この勢いで次回の青年部の定期大会は成功して欲しいです。様々な支部で旗開きがありました、南光

支部の旗開きも楽しかったです。

南光支部 とんがり

割引シールが大好きで、特にも半額と書かれたシールをスーパードで見かけると私の中のアドレナリンが一斉に排出されます。いらぬものまでカゴに入れ、思いがけない出費をしている半額貧乏の私です。

江刺支部 半額シールの女

今朝の気温、氷点下11℃。朝食準備をしながらテレビ

1月号パズル 当選者発表

1月号パズル「まちがい7つ」には26名の応募があり、25名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の20名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■1月号当選者(敬称略)

まめぶう、鼻曲がり土偶(久慈支部)、ダックのおちり好き、オランジーナ、ゴロちゃんじゃがいもの花、アルパカ、ルパン、3匹の子やぎ、バイン犬(以上、中央支部)、フラガール(東和支部)、トリスハイボール、百(中部支部)、ベガ、はちみつ(以上、磐井支部)、シラネアオイ、やさそば(以上、南光支部)、メーメー、よっちママ(以上、大東支部)、梅しらす(大船渡支部)



に耳を傾ける。「今日の東京はとても寒いです！何と3・7℃です!!みなさん、風邪を引かないように!!」「はあゝ!?」と何気にキレてる北国の私です。

二戸支部 あべやん

とんがらし

東日本大震災津波・福島第一原発事故から4年。2015年度の岩手県予算は4年連続の1兆円台、震災分は全体の40%余、「本格復興を邁進する」としている。被災者の医療費・介護保険利用料等、県立病院の再建、災害公営住宅の整備、被災者住宅再建支援事業費補助等、住民本位の復興は切実だ▼2月13日、東北の被災3県と広島県から約400名が国会行動に参加した。岩手からの参加者は50名。釜石市の前川慧一さんは「仮設住宅では2万3000人もが厳しい冬をしのいでいる。仮設ではなく自宅で手足を伸ばして寝たい」と訴えた▼この間、生協連が事務局となり取り組んだ「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める」国会請願署

名(現行の最大300万円から500万円への増額を求めている)は、全国56万2千551筆、岩手は15万筆に近づく集約となつた。紹介議員には、衆参議員22名が務め、岩手県選出では民主、生活、無所属の5議員が名を連ねたものの岩手選出自民党議員は、誰一人名を連ねなかった▼安倍首相は、自分の都合のいい時に被災地を訪問し話題を集めている。しかし、熱心なのは国土強靱化計画に象徴されるような大手ゼネコン・大企業中心の復興ではないか。消費税が上がるうが、社会保障が悪くなるうが、それはそれである▼「なるべくお金がからない時だったらやり直しもきくけれど、これからのことが不安で仕方ない。死ぬのも地獄・生きるのも地獄だな」。そう言わせている現状を許してはならない。

(る)

もしものときに
こんなにお得！

ちがいがわかる抜群の保障 火災共済

◆ダンゼン安い掛金、全国一律です
◆再取得価額で保障するから安心です
◆風水害など火災以外の損害も保障します
◆地震特約も付帯できます
◆退職後も加入を継続できます
◆加入申込み・共済金の請求は
すべて組合を通じて行います

新生活をスタートさせる
ご家族の加入もOK！

建物のみで 0.8万円掛金 1,000円の特約
家財のみで 0.8万円掛金 1,000円の特約

建物のみで 4,000万円保障
家財のみで 2,000万円保障

地震特約は火災共済(基本契約)にプラスできます
0.8万円掛金 1,000円の特約
1,900万円保障

みんなでつくる 大きな安心
医労連共済

退職される皆様へのご案内 退職者をねぎらう集い

日時 4月25日(土)～26日(日)

ところ わらび座、奥羽山荘
(秋田県大仙市川口温泉)

内容

- ◇わらび座
「為三さん！」観劇
- ◇手作り体験または
角館武家屋敷散策
- ◇田沢湖ビールで昼食



上下どちらかの絵に7つの
間違い箇所を印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒020-00023 盛岡市
内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は
3月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白につ

懸賞パズル



まちがいは7つ



「ばやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく！

3月の予定

- 1日(日) 東日本大震災4年のつどい in 陸前高田
- 2日(月) 県医労看護部会(県民会館)
- 7日(土)～8日(日)
医労連共済推進・組織拡大担当者会議
(花巻温泉ホテル千秋閣)
- 8日(日) 3.8国際女性デー岩手県集会
- 11日(水) 要求書回答指定日
- 12日(木) 県医労第2次統一行動、全国統一行動
- 13日(金) 重税反対全国統一行動
重税反対統一行動県中央集会(教育会館)
- 21日(祝・土) 県医労支部長会議(県民会館)

4月の予定

- 18日(土) 県医労支部長会議
- 25日(土)～26日(日)
退職者をねぎらう集い(秋田県大仙市)

